

1. 科目名 (単位数)	現代社会と社会教育 (2単位)	3. 科目番号	SSMP3445 SNMP3445 SCMP3445 SBMP3445
2. 授業担当教員	植原 孝行		
4. 授業形態	講義と討議、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	この科目は、社会教育主事資格取得のための必修科目である。他の必修科目と関連付けて履修すること。		
7. 講義概要	現代社会は変化の激しい時代である。国内だけでなく国際社会の変動が人々の生活や価値観に大きな影響を与えている。そのため、今までになかった新たな課題が生じている。このような現状において、社会教育は「人々の多様な学習要望を踏まえた生涯学習の振興」に努めるとともに、「地域の活性化や家庭の教育力の向上」等の社会の要請に適切かつ迅速に対応する支援の遂行が求められている。そこで、本科目では社会教育についての理解を深めるとともに、身近にある様々な現代的課題解決のための具体的な支援方策について、事例研究やグループ討議を通して追究し、個別事業計画を立案する。		
8. 学習目標	次の目標を達成することを目的とする。 ①現代社会が抱える様々な課題、地域特有の課題の背景や特徴を理解することができるようになる。 ②社会教育とは何かを理解するとともに、現代社会の課題解決に向けた社会教育の役割について理解することができるようになる。 ③社会教育の当面する課題と課題解決に向けた諸施策について理解し、説明できるようになる。 ④社会教育の推進者の役割や社会教育施設の現状と目的について理解することができるようになる。 ⑤身近な現代的課題に対応した具体的方策(個別事業計画)を立案することができるようになる。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	その都度、宿題を出すので、必ず次回に発表する。あるいは、期限までに文書(小レポート)を提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書：○講師作成の印刷物(講義要旨)。○月刊社会教育編集委員会編『公民館60年、人と地域を結ぶ「社会教育」』国土社、2005年。 参考書：○ウィリアム・A・ドレイブス著、三浦清一郎・末崎ふじみ訳『研修・訓練における成人指導の方法』、全日本社会教育連合会、1990年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 社会教育に関する目標・内容・方法について理解し、具体的に説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 現代的課題をふまえた社会教育のあり方について理解した上で、適切なテーマを設定し、学習講座等を企画できる力を身につけたか。(思考力・判断力・表現力) ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢 総合点の30% 2. 授業内での課題提出(小テスト・課題レポート・企画書作成等) 総合点の40% 3. 期末レポート 総合点の30%		
12. 受講生へのメッセージ	ドイツの学生たちの間では、「大学は学問の工場である」と言われているそうです。工場で物を造り出すように、大学は学問によって、質の高い、そして人類に役立つ知を創り出すところ、という意味のようです。そして、それは教師ではなく学生自身が取り組むこととされています。 この授業では次の点に留意して、学びに取り組んでください。 ・出席は必要条件であって、十分条件ではありません。 ・授業中の私語、飲食、携帯電話・スマートフォン等の操作は禁止です。 ・授業に集中し、必ず復習すること。 ・社会教育施設が主催する講座などに参加して、社会教育体験をすることを勧めます。 ・この科目は社会教育主事となるための授業であり、専門職となるための授業です。自分が社会教育主事になったときのことをイメージして学習することを望みます。		
13. オフィスアワー	個別の相談等は、授業後の休憩時間に応じる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・導入：授業の概要、教材、成績評価等について ・授業：社会教育とは、いかなる教育か	事前学習	シラバスにて、この授業の目的や内容を理解する。
		事後学習	導入の説明をふまえ、授業のねらいや課題を確認する。
第2回	現代社会の特徴とその時代 1 (現代社会の特徴)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第3回	現代社会の特徴とその時代 2 (現代社会はいつから始まるか)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第4回	社会教育実践に学ぶ 1 発表と討議	事前学習	実践事例を読み、何が課題かを考える。
		事後学習	もう一度、事例を読み直し要点をノートに整理する。
第5回	社会教育実践に学ぶ 2 発表と討議	事前学習	実践事例を読み、何が課題かを考える。
		事後学習	もう一度、事例を読み直し要点をノートに整理する。
第6回	社会教育実践に学ぶ 3 発表と討議	事前学習	実践事例を読み、何が課題かを考える

		事後学習	もう一度、事例を読み直し要点をノートに整理する。
第7回	社会教育実践に学ぶ 4 発表と討議	事前学習	実践事例を読み、何が課題かを考える
		事後学習	もう一度、事例を読み直し要点をノートに整理する。
第8回	社会教育実践に学ぶ 5 発表と討議	事前学習	実践事例を読み、何が課題かを考える
		事後学習	もう一度、事例を読み直し要点をノートに整理する。
第9回	社会教育実践に学ぶ 6 発表と討議	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第10回	社会教育集団、運営の実際 1 (リーダーシップとフォロワーシップ)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第11回	社会教育集団、運営の実際 2 (リーダーシップとフォロワーシップの理念を集団運営に具体的に活かすには)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第12回	人びとの成長・発達を促すもの 1 (成人はどうやって学ぶのか)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第13回	人びとの成長・発達を促すもの 2 (成人の学習を援助する)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第14回	人びとの成長・発達を促すもの 3 (成人教育学を地域社会教育に活用する)	事前学習	講義要旨を読み、あらかじめ授業の概要を確認する。
		事後学習	授業内容をノートに整理する。
第15回	ふりかえり (これまでの学びをまとめ整理する)	事前学習	14回の学びを知的に整理して授業に臨む。
		事後学習	全15回の学びをノートに整理し確認する。